

あらいざわ通信

第91号 2018年3月30日

発行： 荒井沢市民の森愛護会
上荒井沢水辺愛護会
横浜市栄区田谷町 888

発行責任者： 石川 嘉一郎

市民の森開園20周年祝賀会を計画： 5月19日の定期総会後に

荒井沢市民の森は、平成10年5月10日の開園から20年が経ちました。会員の皆さんの日ごろの努力、横浜市からの援助等をいただき、この20年の間に見違えるほどの整いを見せています。これを喜び、今後のさらなる頑張りを誓うため、新年度の定期総会に引き続いて、祝賀会を催すことを役員会で検討しています。大まかな構想は3月21日の役員会で固めました。その詳細は4月中旬までにまとめ、準備作業を進めていきます。準備段階、並びに実施当日には、会員諸兄弟の協力をお願いします。なお総会は、従来の11時開会を30分早めて、10時30分開会といたします。



田起こし作業に区役所の応援 若い助っ人

新年度の稲作が始まりました。その皮切りになるのが田起こしです。厳寒の季節に、冷たい田んぼに入る作業とあって、辛い作業になりますが、昨年に引き続き横浜市に応援をお願いしていたところ、2月24日、栄区役所の若い職員6名がかけつけてくださいました。従来な

ら、2日に分けて行っていた仕事を、愛護会の元気者と力を合わせて、半日でやり遂げてくれました。驚くべきパワーです。さすが！春はすぐ近くまでやってきています。まず苗床に、そしてあと2か月も経てば田んぼが緑に染まります。忙しくも心浮き立つ季節の到来です。今年も頑張りましょう。

展望台の通路沿いに柵



笹のトンネルから展望広場に抜け、前方の展望台に向かう通路右脇の草地は、かつて、言

わばお花畑の様相を呈していた一角でした。日当たり、風通しがよく、オカトラノオ、ヤマユリ、シモツケなどが華やかに咲いていたものです。長年の間に踏まれたり刈られたりしているうちに花は咲かなくなり、殺風景なただの草地になってきました。植物観察会を契機に、ここに往時の姿を取り戻そうと取り込み中であることはご存知の通りです。通路の右側に柵を設けました。折しも、広場の立木が枝を張り、日陰を広げていたので今年の夏、その一部を間伐し日当たりを改善しました。これら二つの措置がどういう効果を表すか、今年の夏が楽しみです。くれぐれも草刈りには心配りを。

栄区の緑地9団体が集い意見交換

区内の市民の森愛護会や森づくりボランティア団体が、3月2日、区役所に集まり、意見交換、続いて場所を小菅ヶ谷北公園に移して森づ

くりの研修を受けました。当愛護会からは草本夫妻と菅原さんが参加しました。意見交換会では、「イベント紹介やボランティア募集を区の広報に載せてほしい」「希少な生物がいると広報が難しい」などの意見が出ました。小菅ヶ谷北公園では、神保先生の指導を受け、「栄区の里山は利用の多様性 管理の多様性 環境の多様性 生物の多様性とつながっている」ことが力説されました。

今後の活動予定 (30年4月~7月)

4月から作業開始が9時30分になります

4月7日(土) 当番：坂本

各広場と散策路の清掃パトロール

苗床の防鳥ネット張り

苗床水取入れ口の補修

草刈り(当日対応)

4月14日(土) 当番：佐藤

各広場と散策路の清掃パトロール

種籾蒔き・ビニールシート張り

草刈り(当日対応)

4月21日(土) 当番：茨木

各広場と散策路の清掃パトロール

畦塗り

草刈り(当日対応)

4月28日(土) 当番：本間

各広場と散策路の清掃パトロール

畦塗り

草刈り(当日対応)

5月5日(土) 当番：草本

各広場と散策路の清掃パトロール

代掻き

草刈り(畦・池周辺)

5月12日(土) 当番：坂本

各広場と散策路の清掃パトロール

代掻き

草刈り(畦・池周辺)

5月19日(土) 定期総会と20周年祝賀会

5月26日(土) 当番：茨木

各広場と散策路の清掃パトロール

草刈り(三日月広場)

畦道と木道点検

6月2日~12日の間に苗取り・田植えあり)

6月2日(土) 当番：草本

各広場と散策路の清掃パトロール

炭焼き

草刈り(炭焼き広場)

6月9日(土) 当番：本間

各広場と散策路の清掃パトロール

下草刈り(水边上流)

6月16日(土) 当番：坂本

各広場と散策路の清掃パトロール

下草刈り(水辺下流)

6月23日(土) 当番：佐藤

各広場と散策路の清掃パトロール

草刈り(ホオノキ地区~展望台散策路)

下草刈り(ホオノキ地区)

7月7日(土) 当番：茨木

各広場と散策路の清掃パトロール

下草刈り(ホオノキ地区)

7月14日(土) 当番：草本

各広場と散策路の清掃パトロール

草刈り(当日対応)

7月21日(土) 当番：本間

各広場と散策路の清掃パトロール

下草刈り(展望台および周辺)

7月28日(土) 当番：坂本

各広場と散策路の清掃パトロール

草刈り(当日対応)

定例作業と公式行事の記録

(平成29年12月～平成30年3月)

12月2日(土)参加者:21名

各広場と散策路の清掃パトロール
蛙池、水田脇水路と池のクレソン取り
畑:里芋の収穫(一部)

12月9日(土)参加者:20名

各広場と散策路の清掃パトロール
下草刈り(ホオノキ地区左半分)
極楽広場四阿のテーブルと椅子の修理
畑:里芋・ヤーコンの収穫

12月16日(土)参加者:20名

各広場と散策路の清掃パトロール
下草刈り(ホオノキ地区)
炭出し、炭材詰め
芋煮会

12月23日(土)参加者:19名

各広場と散策路の清掃パトロール
倉庫・物置収納物の整理整頓
畑:大根・里芋・ヤーコンの収穫

1月6日(土)参加者:20名

極楽広場で神事と新年の挨拶

全員でパトロール、要所に供え物

1月13日(土)参加者:20名

各広場と散策路の清掃パトロール
苗床土入れ
畑:藁切り、堆肥づくり

1月20日(土)参加者:19名

各広場と散策路の清掃パトロール
倒木等の整理(ホオノキ地区)
散策路沿い杭取替(ホオノキ地区～展望台)
畑:腐葉土入れ

1月28日(土)参加者:17名

各広場と散策路の清掃パトロール
下草刈り(水田北側斜面)
畑:大根収穫

2月3日(土)参加者:17名

各広場と散策路の清掃パトロール
散策路のロープ張り(蛙池～階段下)
ベンチ取替え(極楽広場)

2月10日(土)参加者:18名

各広場と散策路の清掃パトロール
散策路杭打ち・ロープ張り(ホオノキ地区
～展望台)
掲示板取り付け(四阿)

2月17日(土)参加者:17名

各広場と散策路の清掃パトロール
蛙池泥上げ

2月21日(水)参加者:6名

炭焼き広場のゴミ整理

2月24日(土)参加者:17名

各広場と散策路の清掃パトロール
田起こし区役所から6名の応援受け

3月3日(土)参加者:18名

各広場と散策路の清掃パトロール
水路の土砂上げ(通路沿いの川)
苗床、畝づくり

3月10日(土)参加者:16名

各広場と散策路の清掃パトロール
炭焼き、炭材詰め
水田の畦づくり

3月17日(土)参加者:16名

各広場と散策路の清掃パトロール
土砂上げ(水田北側)
椎茸菌植え付け
畑:じゃが芋植付け

3月24日(土)参加者:20名

各広場と散策路の清掃パトロール
スゲ刈りと片づけ
畑:(防草ネット張り)

*** ふれあいノートから

12月30日:毎年年末恒例のウォーキングに
夫婦+愛犬1匹で来ました。自然豊かで、美し
い景色を楽しみました。トイレを使わせて頂き
ました。きれいに清掃して頂いてありがとうございます。
また来年も来ます。

1月21日:鎌倉今泉台からきました。整備さ
れてきれいですね。ありがとうございます。

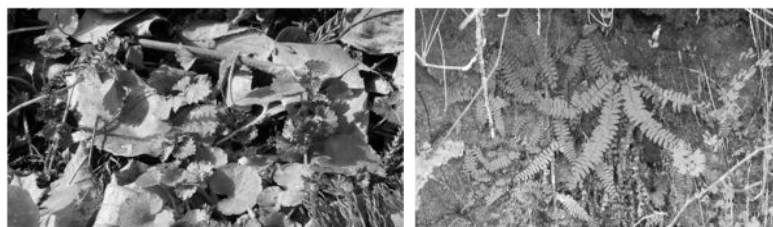
6年ぶりのツララのオンパレード



1月、雨が雪に変わりその後厳しい寒さが数日続きました。絶好のツララ日和です。1

月13日の定例作業の朝には見事なツララが田んぼ奥の崖に出来ました。炭焼き広場に向かう途中にも多く見られましたが、何と言っても田んぼ奥の崖です。長さ、太さともに立派なツララです。昨年冬に数年ぶりのツララが出来ましたが、その時には細く「やっと出来た」という感じでした。その前はというと2012年でしたから5年ぶりなので、それなりの感動を覚えました。今年のツララは2012年物を遥かに超える出来でした。

希少植物2種が荒井沢に健在



昨年6月17日に愛護会が催した「フォローアップ研修」で講師の北川淑子先生から荒井沢市民の森に希少植物2種の存在を教えていただき、神奈川県立博物館発行の冊子のコピーをいただきました。それには「横浜のレッドデータ植物目録」という資料が掲載されています。"レッドデータ"とは、いわば赤信号が灯った種ということのようです。その2種はカテンソウ(左)とツルデンダ(右)です。教えていただいてからずっと見守ってきましたが、いずれも小さな植物で、夏の間はほかの植物の陰に隠れて一時は見失っていましたが、冬になって周り

の草が少なくなると、その健在ぶりを見せてくれています。いずれも株の数を増やしていて、頼もしい限りです。

「目録」によると、カテンソウは、87年以前は南区、磯子区、栄区にあったのが88年以降は栄区だけに減っており、ツルデンダは金沢区と栄区の2区に限られています。いずれも小さく地味な植物で、目立ちませんが、今後も見守っていきたいと思います。

炭焼きその後

通信の前号に掲載の炭焼きのその後。10月31日に焼いた炭は、予定通り12月16日に



窯から出しました。出て来た炭の色を見て、どうかと思っていただるところ、七輪で着火すると、もうもうと煙と炎を上げます。見事な失敗作です。そもそも木炭の出現が「燃料革命」とさえ言われることは、屋外で燃やしていた火を、囲炉裏や竈は別として、屋内、特に座敷に持ち込んだことを指しているとのこと。足利時代末期では、炭火は客人をもてなす「ご馳走」だったそうです。江戸時代になると、当時江戸は世界有数の大都会だったことで、炭の消費量が激増したため、以前は山中にあった炭焼き窯が江戸近郊に進出し、盛んに炭焼きが行われるようになりました。炭焼きに必要な炭材が、武蔵野の雑木林に豊富にあったことも、その条件に当たっていたのでしょうこの失敗で炭の在庫がすぐに底をつき、2月21日に焼いた炭を3月10日に出しました。

本稿の「木炭の歴史」に関わる部分は、足田輝一著「雑木林の博物誌」を参考にしました。